

# 救助隊

## 2016年度活動報告

(活動のまとめ)

昨年まで、<活動のオープン化>として、毎回の合同トレーニングに参加していた愛媛県連の参加者が、救助隊員として正式登録した最初の年となりました。今回、山の子、松山労山から8名の方が登録しました。県内でも、五色の峰の会が設立され、新たに3人の隊員が増えました。

### 1. 救助隊の体制について

#### (1) 2016年度の役員体制

隊長：佐藤 副隊長：三野 事務局長：宮武 事務局次長：谷本

事務局員：音地、川尻、市原、坂上、植松 担当理事：宮武

#### (2) 役員会の定期開催について

4/22	(善通寺)	6名	救急法講習会の計画と合同トレーニングについて
6/6	(観音寺)	7名	救急法講習会と合同トレーニングについて
8/22	(高松)	8名	救急法講習会と合同トレーニングの反省
10/3	(善通寺)	8名	合同トレーニングの反省と模擬搜索訓練の計画について
12/5	(観音寺)	7名	模擬搜索訓練の反省と合同トレーニングの計画について
1/16	(高松)	7名	2016年の総括と方針、合同トレーニングの計画について
2/7	(善通寺)	7名	合同トレーニングの計画について
3/14	(高松)	名	合同トレーニングの反省と総会に向けて

### 2. 隊の活動状況

内容	場所	参加人数	まとめ
7/9～10 沢での搬出	赤星山・ 皇子溪谷	24名	9日は到着時より雨が降っていたため急遽琴弾公園で実技を行い、夜はあけぼの山の会の事務所で懇親会をした。
9/3～4 岩場の搬出	大屋富の岩場	18名	初日から<基礎コース>と<応用コース>に分けて実施した。二日間反復練習ができて良かった。
11/13 模擬搜索訓練	二双越～ 竜王峠	27名	<ヒトココ>を使った搜索訓練を行った。阿讃山脈のような森林に覆われた山中で使うのには限界があるようだ。
2/11～12 雪山での搬出	石鎚山	19名	伯耆大山へは高速道が不通になったために行けず、急遽石鎚山で行った。積雪は少なめだった。

### 3. コンパニオンレスキューの普及活動

内容	場所	参加人数	まとめ
6/12 救急救命講習会	丸亀養校体育 館	69名	今後は、実践的なことをする方向で考える。三角巾の結び方は各会で行う方向。

出前講習会	7月3日	: さかいで山の会 (講師、佐藤た)
	9月22日	: 善通寺山の会 (講師、三野ゆ)
	10月15日	: 塩飽山の会 (講師、佐藤な)
	11月3日	: あげぼの山の会 (講師、佐藤た)
	1月15日	: 観音寺ハイキングクラブ (講師: 佐藤た)

## 2017年度活動方針

◇以下に今年の活動方針を示します。

- ① 隊員を増やすための活動
- ② 救助隊員の更なる救助技術レベルアップとその維持
- ③ コンパニオンレスキュー技術の普及活動
- ④ 行事への個別呼びかけの強化
- ⑤ 活動のオープン化推進(行事予定の事前配布と呼びかけ方法の工夫)
- ⑥ 救助技術の研究活動(必要に応じた技術委員会の開催)
- ⑦ 事故防止のための諸活動
- ⑧ 他団体、組織との連携

### 1. 隊の活動

内容	場所	内容
7/1~2 沢での搬出	わさび沢	1日(13時~)⇒基礎技術の確認 2日(7時 ~)⇒負傷者の搬出訓練
9/2~3 岩場の搬出	大屋富の岩場	レベルに応じた訓練(基礎と応用コースの設定)
11/26 模擬搜索訓練	阿讃山脈	全体ミーティンと班毎のミーティング実施による情報共有と意識合わせ。パーティー内の責任体制確立。
2/17~18 雪山での搬出	伯耆大山	スケッドストレッチャーとツェルト等を使った搬出 <課題> 支点構築

### 2. コンパニオンレスキュー技術の普及活動

- (1) まさかの時の対処方法
  - ・各会にて日程と内容を決定し救助隊へ依頼
  - ・救助隊から講師の派遣
- (2) 危急時対応講習会の開催
  - ・開催日時: 6月17~18日
  - ・開催場所: 五色台(休暇村讃岐五色台に宿泊)
  - ・内容⇒山で怪我人が出た場合の対処と搬出

### 3. 各会への支援活動

各会・クラブから下記内容に関する協力要請があれば講師を派遣し、支援活動を実施します。

- (1) 具体的な支援内容
  - ・登山の基礎技術及び知識、事故防止に関する知識と技術、岩場を安全に通過する方法、ロープワークなど